

## Ⅱ 県内における循環器病の状況

### 1 罹患の状況

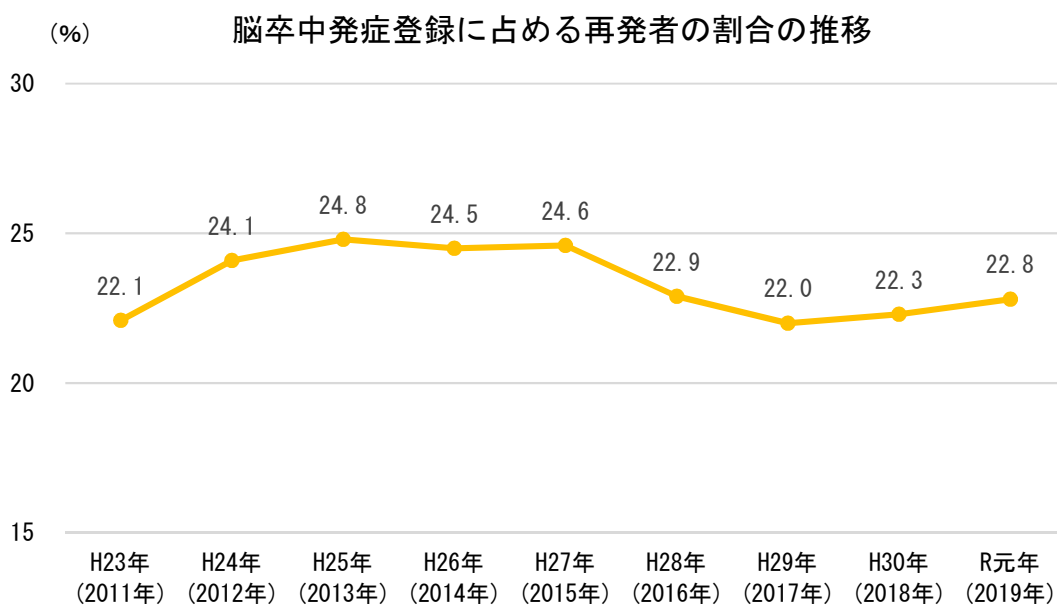
- 平成 29(2017)年患者調査では、継続的に治療を受けている県内の推計患者数は、脳卒中が 21,000 人、急性心筋梗塞を含む虚血性心疾患が 7,000 人、心不全が 5,000 人となっています。

継続的に治療を受けている県内の推計患者数

	H20 年 (2008 年)	H23 年 (2011 年)	H26 年 (2014 年)	H29 年 (2017 年)
脳卒中	19,000	19,000	15,000	21,000
虚血性心疾患	13,000	13,000	13,000	7,000
心不全	3,000	3,000	2,000	5,000

出典：厚生労働省「患者調査」

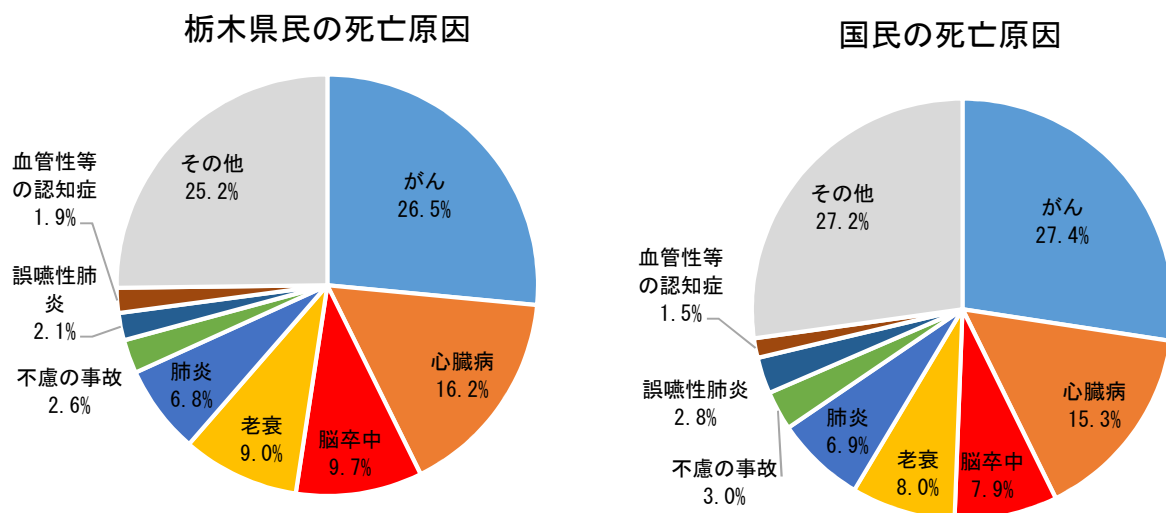
- 栃木県脳卒中発症登録では、脳卒中発症者のうち再発者が 22.8% を占めています。



出典：「栃木県脳卒中発症登録」

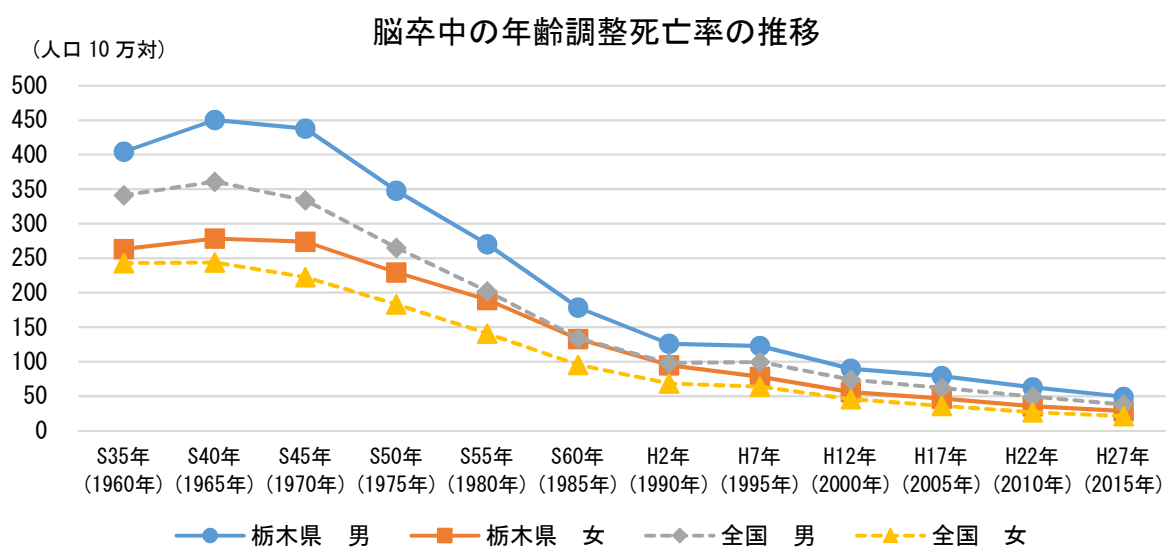
## 2 死亡の状況

- 循環器病(脳卒中・心臓病)は、県内における死因の約4分の1を占めており、また、全国に比べて死亡原因に占める循環器病の割合が高くなっています。



出典：厚生労働省「H30(2018)年人口動態統計」

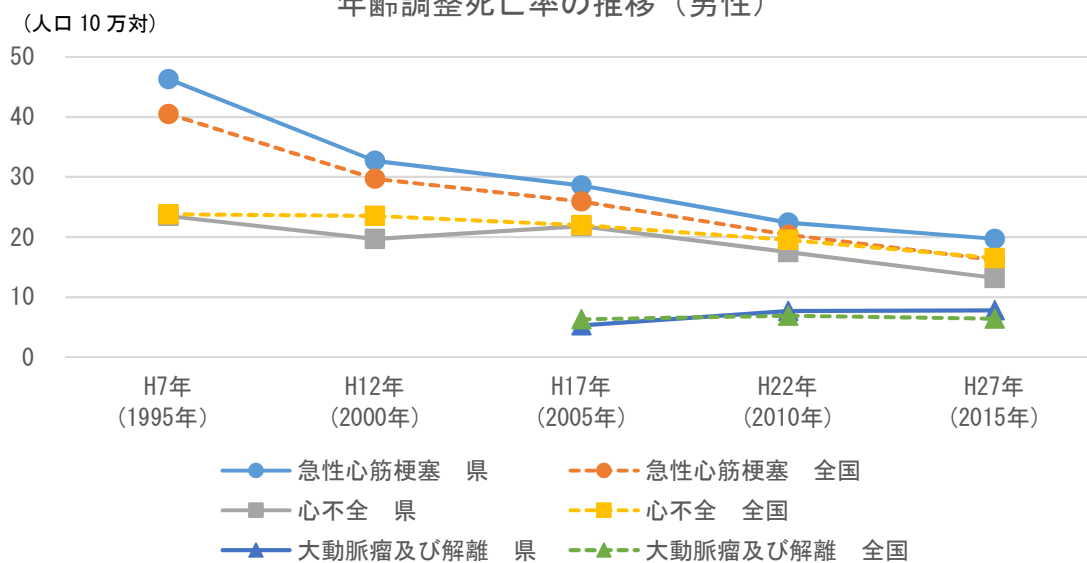
- 平成27(2015)年人口動態統計では、脳卒中の年齢調整死亡率(人口10万対)は、男性が49.1、女性が28.5となっています。男女とも一貫して減少していますが、全国値より高い状況が続いています。また、年齢階級別で見ると、死亡率は男女とも40歳代から増加しています。



出典：厚生労働省「人口動態統計」

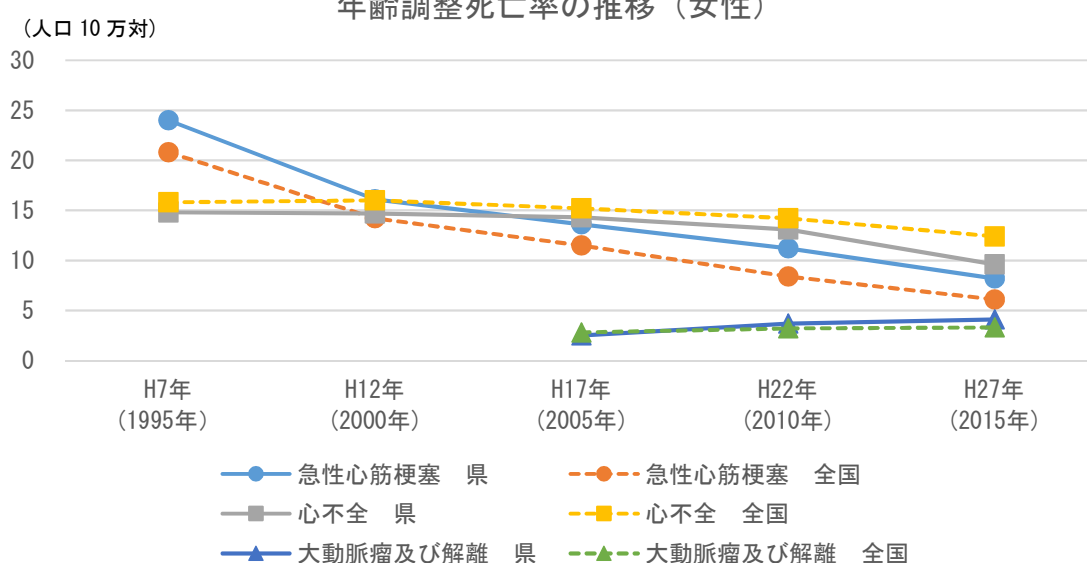
- 平成 27(2015)年人口動態統計では、年齢調整死亡率(人口 10 万対)は、急性心筋梗塞が男性で 19.7、女性で 8.2、大動脈瘤及び解離が男性で 7.8、女性で 4.1 となっており、いずれも全国値より高い状況です。一方、心不全は男性で 13.2、女性で 9.6 となっており、全国値よりも低くなっています。

急性心筋梗塞、心不全、大動脈瘤及び解離の  
年齢調整死亡率の推移 (男性)



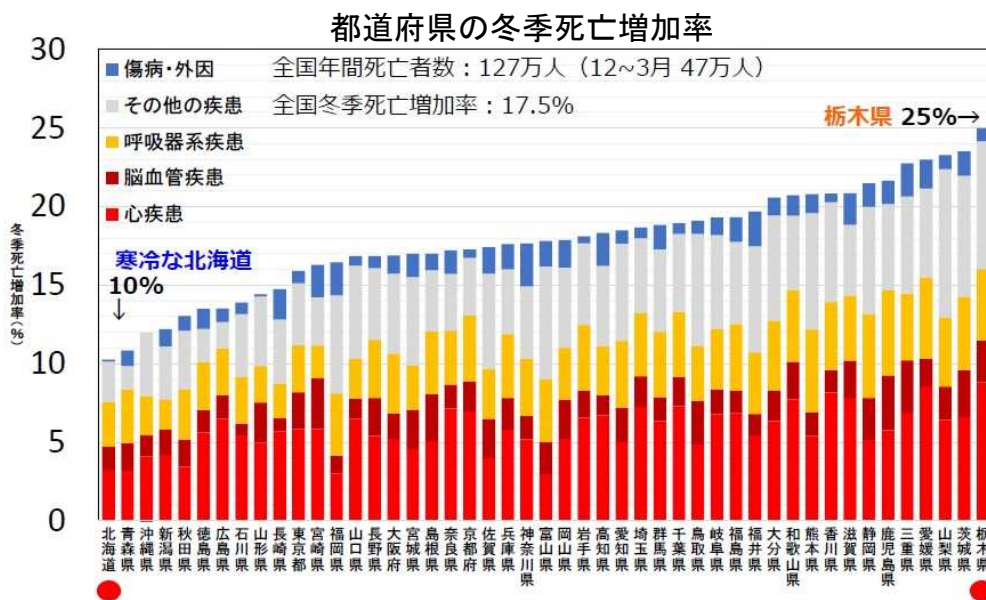
出典：厚生労働省「人口動態統計」

急性心筋梗塞、心不全、大動脈瘤及び解離の  
年齢調整死亡率の推移 (女性)



出典：厚生労働省「人口動態統計」

- ・ 冬季(12～3月)の死亡増加率が25%となっており、全国で最も高い状況です。また、循環器病(脳血管疾患・心疾患)の死亡増加率においても、全国で最も高くなっています。この原因として、放射冷却現象により特に明け方にかけて冷え込みが厳しい本県の冬の気候や、高断熱住宅の普及率の低さなどが指摘されており、一層の対策が求められています。

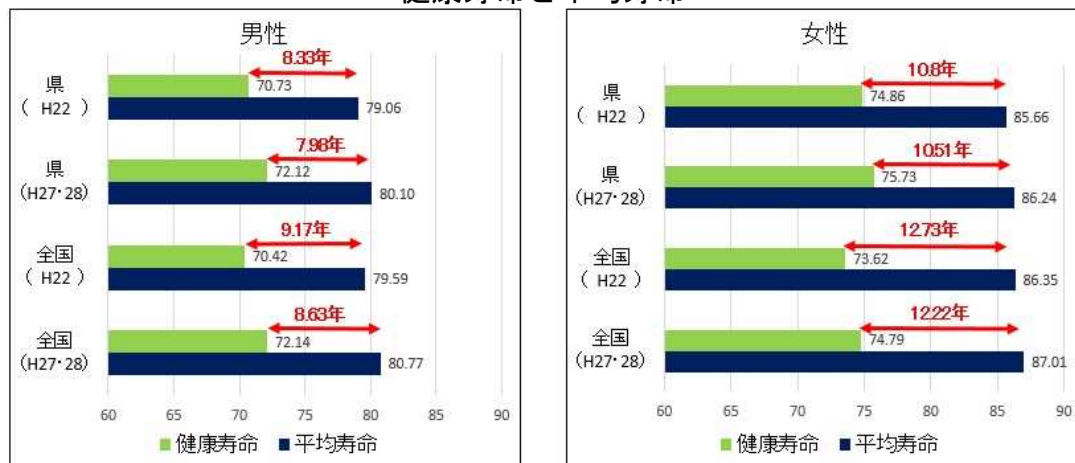


出典：国土交通省「住宅の断熱化と居住者の健康への影響に関する調査の中間報告」より抜粋  
 (厚生労働省：人口動態統計(2014年)都道府県別・死因別・月別からグラフ化)

### 3 健康寿命の状況

- ・ 健康寿命は延伸傾向にあります。男性は72.12年で、全国値とほぼ同様となっており、女性は75.73年で、全国値より約1年長くなっています。
- ・ 健康寿命と平均寿命の差である不健康期間は短縮傾向にあり、また、全国値より小さくなっています。

#### 健康寿命と平均寿命



出典：健康寿命(H22年・H28年)厚生労働省研究班作成資料／平均寿命(H22年・H27年)都道府県別生命表